

線をたどる | 声かけと使い方

点線は鉛筆や指でたどる道です。切る線ではありません。絵のそばの最初の点線から、目的地側の最後の点線までたどります。絵の中を塗ったり、点線の先から絵の中心まで線を足したりする必要はありません。

最初に本人が気に入った一枚・一本を選びます。年齢や診断名で難しさを決めず、見え方、姿勢、道具の扱いやすさに合わせます。指でたどる、途中で鉛筆を置く、途中から再開することもできます。はみ出しを失敗にせず、速さを競いません。休む・やめる意思是、言葉でも身ぶりでも受け止めます。

紙が滑らない机で、本人が扱える鉛筆や描画材を用意し、大人が見守ります。尖った先を人へ向けない、道具をくわえない、持ったまま歩かないことを確認します。小さいキャップや折れた芯は片付けます。痛み・疲れ・強い嫌がりがあれば止めます。実際の印刷で点線が欠けたり見えにくかったりする場合は、その紙を使いません。効果や適合性を保証する教材ではありません。

AI作成のたたき台です。実印刷・利用者の試用・教育効果は未検証。本人の意思と反応に合わせて選んでください。

01 うさぎと にんじん

声かけ①：「どのうさぎと行こうか？」

声かけ②：「点線をたどって、にんじんのそばまで行ってみよう」

簡単にする方法：一本だけ見せ、最初は指でたどります。長ければ途中で区切ります。

安全・個別条件：左利き・右利きに合わせて紙を置き、手で目的地が隠れない位置を探します。
手を無理に引っ張って動かしません。

正解：各うさぎから、同じ段の横の直線をたどって右のにんじんへ。3本。

02 くまの エレベーター

声かけ①：「このくまを、上のとびらまで運ぼうか」

声かけ②：「ここでひと休みする？ もう少し上へ行く？」

簡単にする方法：一本だけ選び、上半分か下半分の短い区間から始めます。

安全・個別条件：上へ手を伸ばして姿勢が崩れる場合は、大人が紙の位置を調整します。腕を伸ばし切ることを求めません。

正解：下のくまのかごから、同じ列の縦の直線をたどって上の扉へ。3本。

03 ペンギンの おうち

この題は空想のなぞり遊びであり、ペンギンの実際の生息場所を教える教材ではありません。

声かけ①：「ペンギンのおうちはどこかな？」

声かけ②：「ななめの道を、おうちのそばまでたどろう」

簡単にする方法：大人が出発と目的地を指してから、一本だけ取り組みます。必要なら紙を少し回します。

安全・個別条件：紙の角度の調整は、本人が道具を止めてから行います。線が斜めでも体を無理に傾けさせません。

正解：各ペンギンから、斜め右下の直線をたどって対応するおうちへ。3本。入口の中まで描き足す必要はありません。

04 てんとうむしと はっぱ

声かけ①：「てんとうむしと、はっぱへ行ってみよう」

声かけ②：「少し曲がっているね。指で先にたどってみる？」

簡単にする方法：曲がりの浅い上段から選べます。曲線の途中で止め、次の点線を確認しても構いません。

安全・個別条件：一息で描くことを強制しません。指や手首に力が入り続ける場合は休めます。

正解：各てんとうむしから同じ段のはっぱへ。上段は上に、中央と下段は下にふくらむ曲線。3本。

05 はちと おはな

声かけ①：「はちと、おはなまで飛んでいこうか」

声かけ②：「山の上まで来たね。ここからおはなのほうへ行こう」

簡単にする方法：弧の頂上までと、そこから花までの二つに分けます。一本だけでも終わられます。

安全・個別条件：大きな弧を描ける空間を確保します。腕が机の端に引っかかる場合は紙の位置を直します。

正解：各はちから上にふくらむ一本の弧をたどって右のおはなへ。3本。

06 さかなと さんご

声かけ①：「どのさかなと泳いでみたい？」

声かけ②：「上へ、下へ。点線の続きをゆっくり見よう」

簡単にする方法：最初の山一つだけをたどり、続きは本人が選びます。大人の指で次の区間を示せます。

安全・個別条件：上下の切替えで止まっても急がせません。鉛筆を強く押し付けることを求めません。

正解：各さかなから同じ段の波線をたどって右のさんごへ。二つの山を持つ道が3本。

07 でんしゃと えき

声かけ①：「でんしゃを、えきまで走らせようか」

声かけ②：「曲がり角だね。ここから上へ行くよ」

簡単にする方法：横の直線と、曲がって上へ行く部分を分けます。曲がる前に道具を置いて確認できます。

安全・個別条件：曲がり角で手を無理にねじらせません。本人が止めてから紙を回しても構いません。

正解：各でんしゃから右へ進み、丸い角を上へ曲がってえきへ。2本。線路を描き足す課題ではありません。

08 かたつむりと きのこ

声かけ①：「かたつむりと、きのこまでお散歩しよう」

声かけ②：「曲がる向きが変わったね。次の点線はどこかな？」

簡単にする方法：前半の山までを一回の範囲にし、後半は休んでから選びます。

安全・個別条件：殻の渦巻きはたどる道ではないと、必要な時だけ指で示します。視線が迷う時は一つの段だけ見せます。

正解：各かたつむりから、上へふくらみ次に下へふくらむ点線をたどって右のきのこへ。2本。

09 ロケットと ほし

声かけ①：「ロケットを、あのほしまで飛ばそうか」

声かけ②：「点線が少し曲がっているね。次のところまで行ってみよう」

簡単にする方法：指で出発と到着を確かめ、短い区間ずつたどります。斜めの向きが負担なら紙を回せます。

安全・個別条件：勢いよく速く描かせません。ロケットの遊びでも、鉛筆を空中へ振り上げず紙の上で扱います。

正解：各ロケットから、右上へ緩くうねる点線をたどってほしへ。2本。

10 りすと どんぐり

声かけ①：「りすと、どんぐりまで行ってみよう」

声かけ②：「下まで来たね。丸く曲がって上へ行こう」

簡単にする方法：下る部分、底の曲線、上る部分に分け、好きな一区間から試せます。

安全・個別条件：腕を大きく動かせるよう周囲の物を片付けます。実物のどんぐりなど小物を追加する必要はありません。

正解：各りすから下へ進み、U字の底を回って右上のどんぐりへ。2本。左右を直線で近道する問題ではありません。

11 いぬの おとどけ

声かけ①：「いぬと、おうちへ荷物を届けようか」

声かけ②：「曲がるところで止まってもいいよ。次はどっちかな？」

簡単にする方法：一つの直線区間ずつ、大人が次の曲がり角を指します。最初の曲がり角までも構いません。

安全・個別条件：進行方向を答えることを必須にしません。指差しでもよく、見通しが持てない場合は短い区間だけ示します。

正解：各いぬから右・上・右・上・右の順で点線をたどり、おうちへ。2本。

12 あひると いけ

声かけ①：「あひると、いけまで歩いてみよう」

声かけ②：「まっすぐの次は、少し曲がる道だね」

簡単にする方法：前半の直線だけから始めます。後半の曲線は別に指で確かめてから続けます。

安全・個別条件：三本全部の完了を求めません。直線から曲線への切替えで疲れた場合は休みます。

正解：各あひるから右へ直線を進み、後半の緩い曲線を通っていけへ。3本。池の輪郭を一周する必要はありません。